

## A S P ユーザー 外字の登録方法

### ローカル側画面での操作(Win10)

①Windowsのスタートボタンより、すべてのプログラムから「アクセサリ」→「外字エディタ」を開き、最小化しておきます。

「アクセサリ」が見当たらない場合は、検索バーで「外字エディタ」と入力することでアプリが表示されるので立ちあげてください。

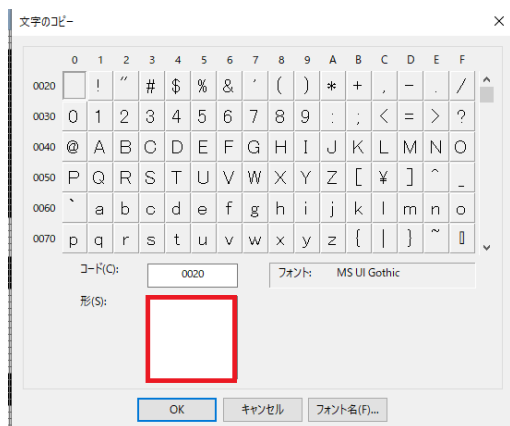
②Wordを立ち上げ、画面右下の言語バーからIMEパッドを開き、該当の漢字を検索してWord内に表示させます。

該当の漢字がない場合は、似た漢字を表示させることで、後からその漢字を修正し登録することができます。

③ ①で最小化してあった外字エディタを開き、「編集」→「コードの編集」をクリックし、「コードの選択」画面を表示させます。

④どこでもいいので空欄をクリックし「OK」をクリックします。

⑤「編集」→「文字のコピー」をクリックし、「形」のマスをクリックし、②で表示させた該当の漢字をコピーし貼り付け「OK」をクリックします。

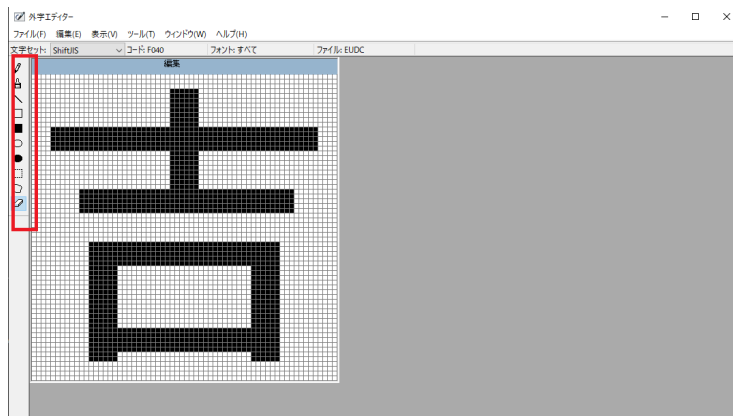


#### 【注意】

貼付けができない文字もありますので、その場合は似た漢字を表示させ 次の行程で修正するか、⑤の行程は省いて、文字を一から作成してください。

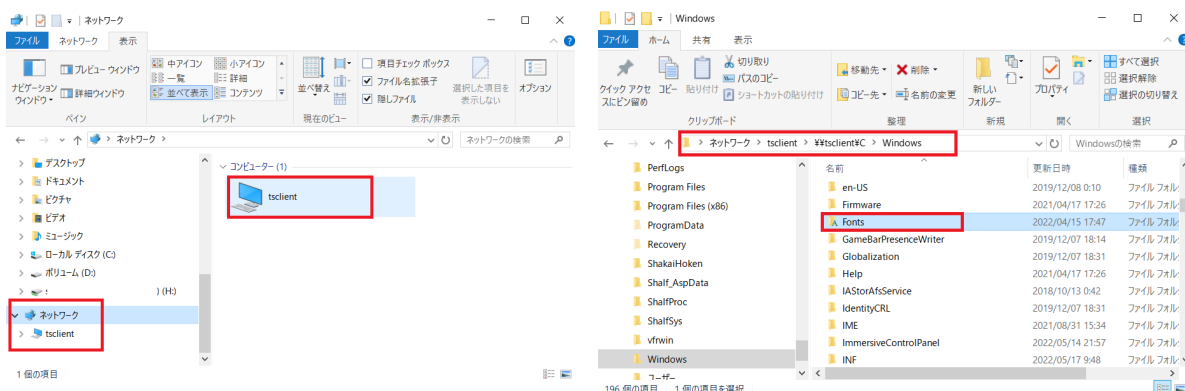
⑥修正を行う場合は、左側にあるツールを使い、ドット枠の表示を消すか塗りつぶすか変更します。

完成したら、「編集」→「同じコードで保存」をクリックし、外字エディタを閉じます。



ASP側（クラウドに接続した画面）での操作

- ① エクスプローラーを開き、（H:）ドライブ内に新しいフォルダを作成し、フォルダ名を「**Gaiji**」にします。
- ② エクスプローラーの、「ネットワーク」から「tsclient」 - 「tsclient\C」 - 「Windows」 - 「Fonts」フォルダを開きます。

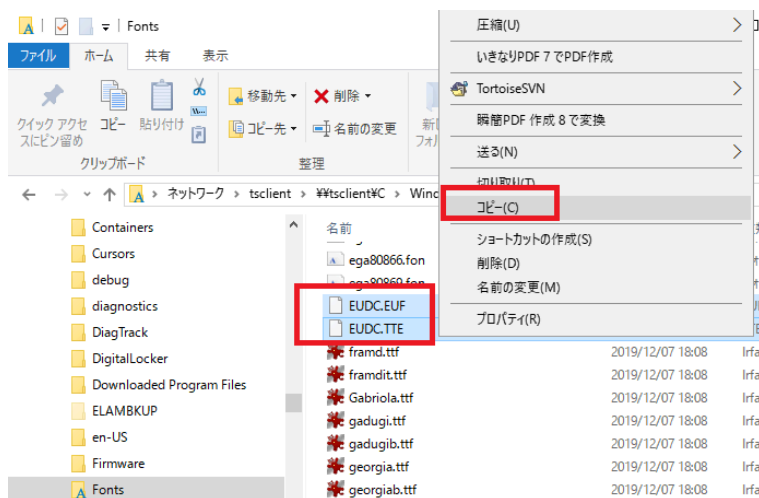


※Windows11を利用されているユーザーは、お送りした「font\_for\_shalf」をダウンロードして頂き、下記の手順にてFontsフォルダの作成をお願いいたします。

- 1) 添付の「font\_for\_shalf」圧縮ファイルを解凍して下さい。
- 2) その中に「font\_for\_shalf.bat」というファイルがあるので、そのファイルを右クリックで「管理者として実行」して下さい。
- 3) C:¥の中に「font\_for\_sh」フォルダができます。
- 4) 「C:\font\_for\_sh」フォルダ内にある フォントファイルがコピーされます。

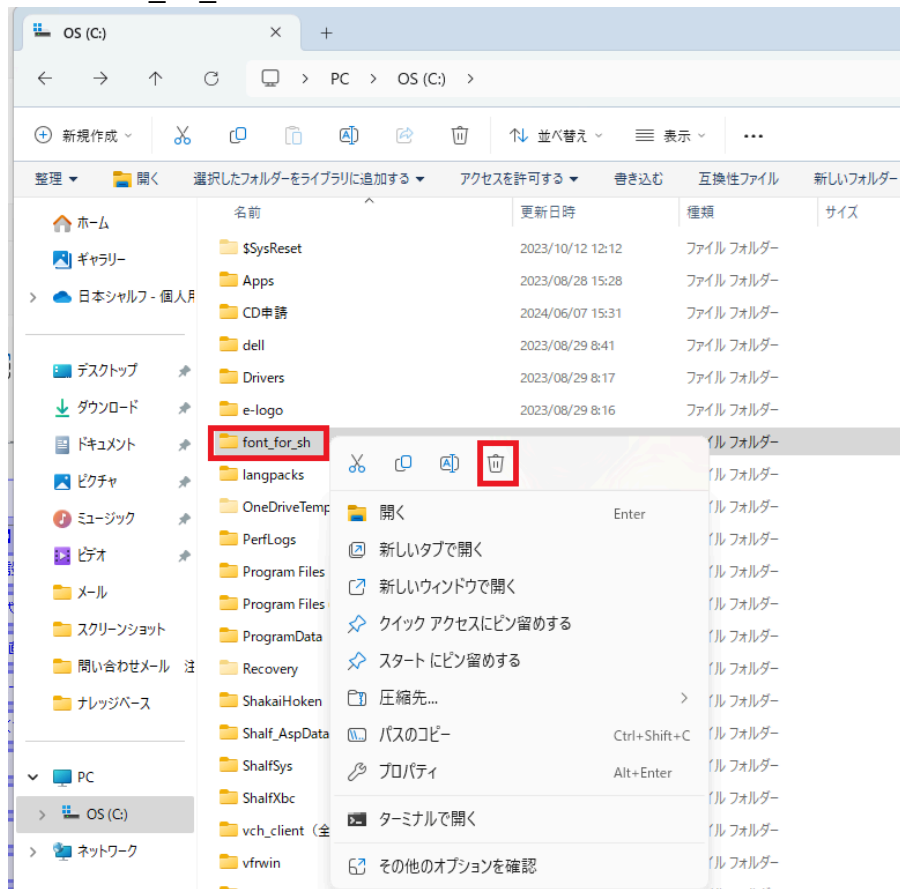
- ③ 「C:\font\_for\_sh」フォルダ内にある  
EUDC.TTE  
EUDC.EUF

2つのファイルを選択し、右クリックして「コピー」をクリックし、  
①で作成した**Gaiji**フォルダに貼り付けます。

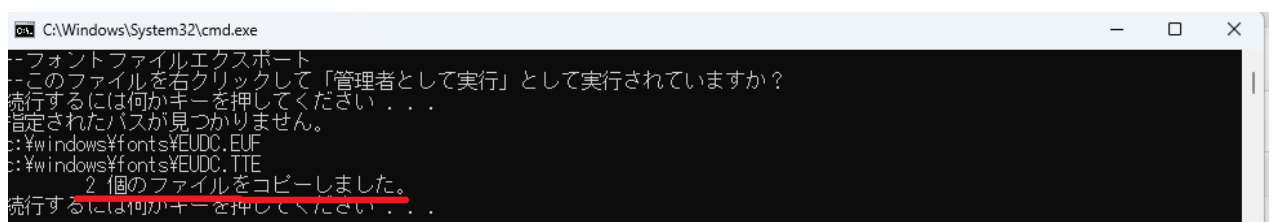


## 《注意》「C:\font\_for\_sh」フォルダ内にEUDC.TTEとEUDC.EUFができない場合

①「C:\font\_for\_sh」フォルダを削除します。



②再度、「font\_for\_shalf.bat」を右クリックで「管理者として実行」して下さい。  
実行したときに、2個のファイルをコピーしました。と表示されていれば、  
「C:\font\_for\_sh」フォルダ内にEUDC.TTEとEUDC.EUFができます。



ここまで完了しましたら、日本シャルフサポートまでご一報ください。  
登録された外字をサーバーへセットします。

セットが完了しましたらご連絡を差し上げますので、  
**シャルフにログインをしている状態であれば、サインアウト→ログイン を2回繰り返してください。**  
**シャルフにログインをしていなければ、ログイン→サインアウトの後、再度ログインをしてください。**

上記により、登録された外字が反映されます。

セットされた外字は  
IMEパッド→文字一覧→シフトJIS→外字  
から表示できますので、言語バーから「単語の登録」で、読み仮名登録をすることをおすすめします。